



麻疹（はしか）の感染が拡大しています

日本国内での麻疹感染が拡大しています

2013年の年間累計患者数は232人でした。2014年は1月からの累計患者数がすでに250人を超えています。現在は、東京、静岡などで感染が確認されていますが、麻疹の感染力は非常に強いため、注意が必要です。麻疹の流行期は、毎年春から初夏にかけてとされています。今後も感染拡大が予想されます。

麻疹とは？

①麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。

感染すると、発熱・咳などの風邪のような症状から始まり、その後全身に発疹が広がります。肺炎や脳炎などの重い合併症がおこらなければ、7～10日後には主な症状は回復します。ただ、免疫機能が低下しますので、しばらくは他の感染症にかかるとう重症化しやすくなります。体力が戻るまで1ヶ月くらいかかることもめずらしくありません。成人してから麻疹に感染すると、重症になることもあります。

②麻疹ウイルスの感染力は非常に強いと言われています。

基本再生産数：一人の発症者が何人に感染させるかの指数

インフルエンザ： 2～3人

麻疹：16～21人！

麻疹は空気感染します。非常に小さいウイルスですので、空中を浮遊し、それを吸い込むことで感染してしまいます。したがって、手洗い・マスクだけでは予防することはできません。

また、感染するとほぼ100%発症します。

麻疹を予防するには？

上記のように、麻疹の感染力は非常に強いため、予防するには一人ひとりが抵抗力をつけておくしかありません。今までに麻疹にかかったことがなく、予防接種を受けたこともない人は、かかりつけのお医者さんに相談してください。

また、小さいころに予防接種を受けたという人でも、調べてみると抵抗力が低下していることがあり、抗体検査の結果、値が少なかった人は早めに予防接種を受けてください。

抗体検査は、毎年学生健康診断に併せて実施しています



かかってしまったとき

①急な発熱、発疹がある場合には、登校せずに医療機関を受診しましょう

麻疹は非常に感染力が強いので、医療機関に事前に電話連絡をする方がよいでしょう。

②麻疹と診断された場合は、保健所に連絡することになっています。

同時に、大学へも電話で連絡をしてください。

法律で定められた期間は、登校禁止です。

心配なこと、わからないことがあるときは、健康安全センターに相談してください